

令和4年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	コロナに打ち勝つ免疫力向上事業			整理番号	— —
				担当課係	新型コロナウイルス感染症対策推進課
事業予算費目	款	2	総務費	記入者職・氏名	
	項	1	総務管理費	内線等	454
	目	11	諸費	事業区分	経常事業
	大事業	10	コロナに打ち勝つ免疫力向上事業	事業期間	令和4年～ 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等					

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

厚生労働省によると感染防御には、よく睡眠をとること、運動すること、バランスの良い食事を摂ることなどが有利に働くのではないかとされている。また、肥満などの基礎疾患がある方は、新型コロナウイルスに罹患した際、重症化しやすいとされている。

一方、現在健康である方も、新型コロナウイルス感染症対策で外出自粛が求められる中、運動不足やストレスから、心身に支障をきたす健康二次被害が懸念されている。

こうした課題の解決を図るため、比較的感染リスクが低く、手軽にはじめることができる運動である「散歩」を推奨するため、本事業を提案するに至った。

事業の内容	<p>手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）</p> <p>散歩を推奨するためのツールとして、普段運動の習慣がない方でも楽しみながら散歩をすることができる「お散歩アプリ」を開発するとともに、散歩コースの設定・整備、コース動画の撮影と撮影した動画のYouTubeなどへの掲載を行う。</p>
事業の目的	<p>効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）</p> <p>継続的な散歩を促進することで市民に健康的な生活を営んでもらうとともに、指定緊急避難場所などへの防災散歩を通じた防災力の向上、飲食店等との連携による地域経済の活性化、市内の観光名所名跡などの動画を活用したPR、市民からの公募により隠れた名所の発掘も図るなど、散歩を活用して広く地方創生の推進を図ることを目的とする。</p>

■総合計画(後期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(後期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(後期基本計画)上の位置付け	基本目標	3. 健やかな暮らしづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	① ひとりひとりが輝けるまちづくり
			中項目	3-6健康づくりの推進
			小項目	感染症予防・対策の強化

(理由)

健康づくりの推進における課題として「ウォーキング等の適度な運動による健康づくりに取り組みます。」と謳われているが、感染予防や重篤化を避けるための健康づくりは本事業の主目的となっている。

同時に、防災基盤の整備において「迅速かつ円滑に避難することができるよう、避難経路の整備や防災訓練等の様々なハード・ソフト施策を総合的に展開します。」と謳われており、指定緊急避難場所への避難誘導看板の設置に加え、指定緊急避難場所めぐりコースなどを設定し、実際に市民の方に現地まで歩くことを促すことで、当該項目に資することも狙いとしている。

加えて、観光の振興における施策の方向性として「観光情報の効果的な発信に努める」と謳われており、本事業においては観光名所コースの設定や散歩コース動画のYouTubeへのアップなどにより、地域資源のPRを図る。

■他の自治体の類似する政策との比較検討

いくつかの自治体で散歩アプリを開発した事業を展開している。なかには、自治体からのお知らせをメインとした自治体アプリのコンテンツのひとつとしてお散歩アプリ機能を付加し、ダウンロード数を増やした事例もあるが、本市では感染症対策としてのお散歩アプリの普及定着を図ることとする。

散歩アプリをインストールしてポイントを取得し、そのポイントをクーポン券や商品券に交換している自治体、ポイントを他のアプリに連動させて買い物時に利用できるようにしている自治体、ポイントを消費することで景品抽選に申し込みできるようにしている自治体などがある。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有・無) ○を入れてください。

事業の対象	対象(誰、何を対象にしているのか)
	事業の対象は全市民。 コース動画の作成とYouTubeへのアップについては、本市に関心のある他市の方々。
事業の意図	意図(事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか)
	散歩による市民の健康の保持向上、免疫力の向上に伴う感染症対策を基本とするが、付随して防災力の向上、観光名所の発掘、地域内事業所の活性化を図るとともに、動画配信を通じて市の魅力発信を行い、関係人口の増加に努める。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)
	「防災散歩」の推進について提言を頂いたことがある。 既存のウォーキングアプリの利用者から、ランキング表示がされなくなったことが非常に残念であるとのお言葉も頂いた。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか?	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺状況等は今後どのように変化していくか) 平均寿命の延伸や高齢者人口比率の増加に伴い、健康寿命へのニーズやますます高まっていくと考えられる。それに伴って今後、健康産業が一産業へと成長していく可能性があり、散歩アプリなどは商業ベースに乗って民間の開発が推進されることも想定される。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	13,120	13,120				
		地 方 債	0					
		その他(利用者負担等)	0					
		一 般 財 源	8,505		2,805	2,835	2,865	
	A 直接事業費(千円)	21,625	13,120	2,805	2,835	2,865	0	
	人件費	正 規 職 員 数	2.00 人	1.10 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	人
		職 員 人 件 費 ①	18,130	10,108	2,674	2,674	2,674	
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	1.10 人	0.20 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	人
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 費 金 等 ②	2,563	466	699	699	699	
	B 人件費計(千円)①+②	20,693	10,574	3,373	3,373	3,373	0	
A + B	42,318	23,694	6,178	6,208	6,238	0		

有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> a ない	理由	本事業の目標や狙いとすべき課題の解決が遅延する恐れがある。
	② 類似事業との整理統合はできないか?	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> a できる	理由	本市の事業の中には類似の事業はないと考えられる。しかし、関連事業は多く存在するため、互いの事業効果を高めるために積極的に連携していく必要がある。
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか?	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> a あり	理由	今後に向けては、利用者数の拡大に向けた取り組みを推進するとともに、ロゲイニングの実施や市内各種団体・事業者や他の自治体との連携を検討する必要がある。

◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。

有効性	①	
	②	
	③	市内各種団体や事業者とのタイアップや、共通の問題意識を持つ他の自治体との連携を模索。

所属長による総合的なコメント

基本となるお散歩アプリが普段運動をする習慣のない方が楽しんで散歩できるような内容にするとともに、開発後は多くの方にご利用いただけるようその普及を十分に図ること。また、当該事業を軸に、防災や観光、商業振興や健康増進など、様々な行政ニーズに対応することが期待されるため、関係部署や関係団体とうまく連携し、組織横断的に事業を推進すること。